

# 6年生 7月活動風景

## 着衣水泳



クロールでは、長い時間泳ぐのが難しかった。もし、近くに陸地があったら、平泳ぎで移動したほうがよさそうです。

身に付けている服や靴が水を吸ってとても重たくなります。いつも通りの動きができないと慌ててしまいそうだから、体験できてよかった！



口と鼻さえ出ていれば、呼吸することができます。仰向けで少しでも長く浮いて救助を待つことが大切です。



今年度も、児童が安全確保の動きを身に付けたり、安全への意識を高めたりするために、着衣水泳に取り組みました。どんなに泳力が高くても、海の波、川の流れ、災害時の濁流の中で、いざというときに安全に行動できるとは限りません。正しい動きを経験し、身に付けておくことで、少しでも長く水面に浮いていられるようにし、救助が来るまで待てる時間を長くしたいと考えて指導しました。普段から体力作りに励み、様々な動きを身に付けておくことで、自分の命を守ることができます。このような機会だけでなく、いつでも安全な生活を送れるように日頃から指導していきます。